

第 31 期

中間事業報告書

平成17年3月1日から平成17年8月31日まで

株式会社 宮

株主の皆さまへ

晩秋の候、株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援ならびにご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成17年8月31日をもちまして、当社第31期中間期（平成17年3月1日から平成17年8月31日まで）が終了いたしましたので、営業の概況等につきましてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善から、個人消費も持ち直しの兆しを見せ、景気は穏やかな回復基調のもとで推移してまいりました。

当社グループの基幹となる外食産業におきましては、狂牛病による米国産牛肉の輸入禁止が依然として続いており、更に店舗数過剰による同業との競争の熾烈化や、コンビニエンスストアなどとの競合により、既存店売上高の低迷が続いており、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループは創業の原点に戻り、全社的に現場主義、すなわち店舗最優先主義を進め、人事・原価管理の手法を徹底し、教育体制の強化を図っております。

さらに当中間連結会計期間は大型ショッピングセンター内への出店を加速し、イトーヨーカ堂系では、千葉県千葉市の蘇我店内に3店舗、埼玉県三郷市の三郷店内に2店舗、イオン系では、新潟県新発田市の新発田店内に1店舗、栃木県真岡市の真岡店内に2店舗出店いたしました。

また、既存店の業態変更にも積極的に取り組み、「ステキ宮」への変更を4店舗行いました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は10,399百万円（前年同期比93.2%）、経常利益198百万円（前年同期比65.5%）、中間純利益91百万円（前年同期比171.8%）となりました。

下半期につきましては、企業収益や雇用の改善により、個人消費は緩やかな回復基調が続くものの、原油価格の

高騰や急激な円安の影響など、景気はまだまだ予断を許さない状況が続くものと予想されます。

当社グループは、このような環境を踏まえ、店舗を重視した現場主義を徹底してまいります。また、社員の意識改革を図るとともに、店舗での商品管理の徹底、原価の低減、不採算店舗のスクラップ等を積極的に行い、収益改善を優先した諸施策を推し進め、経営基盤の強化に努めてまいります。

株主の皆さまには今後ともなお一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

平成17年11月11日

代表取締役会長兼社長 鈴木 栄 一

中間連結貸借対照表（平成17年8月31日現在）

（単位：千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
（資産の部）		（負債の部）	
流動資産	4,546,725	流動負債	10,592,930
現金及び預金	1,754,559	買掛金	804,321
売掛金	288,678	短期借入金	8,704,719
たな卸資産	1,624,414	賞与引当金	16,500
その他	884,520	その他	1,067,389
貸倒引当金	5,446	固定負債	11,264,178
固定資産	23,714,587	社債	3,000,000
有形固定資産	16,567,140	長期借入金	7,121,512
建物	8,328,445	退職給付引当金	42,713
土地	6,123,294	その他	1,099,952
その他	2,115,401	負債合計	21,857,108
無形固定資産	382,978	（少数株主持分）	
投資その他の資産	6,764,468	少数株主持分	2,524
投資有価証券	1,757,831	（資本の部）	
差入保証金	4,574,967	資本金	3,794,197
その他	775,068	資本剰余金	3,111,331
貸倒引当金	343,398	利益剰余金	320,969
資産合計	28,261,313	株式等評価差額金	173,963
		自己株式	8,915
		資本合計	6,401,680
		負債、少数株主持分及び資本合計	28,261,313

中間連結損益計算書 (平成17年3月1日から
平成17年8月31日まで)
(単位:千円)

科		目	金額
経常損益の部	営業損益の部	営業収益	10,399,649
		売上高	9,882,172
		その他の営業収入	517,477
		営業費用	10,112,259
		売上原価	3,513,143
		販売費及び一般管理費	6,599,116
		営業利益	287,389
	営業外損益の部	営業外収益	101,572
		受取利息	11,106
		その他の営業外収益	90,466
		営業外費用	190,457
		支払利息	185,549
その他の営業外費用		4,907	
	経常利益	198,505	
特別損益の部	特別利益	3,347	
	特別損失	50,464	
	固定資産除却損	45,944	
	その他特別損失	4,520	
税金等調整前中間純利益			151,388
法人税、住民税及び事業税			46,598
法人税等調整額			12,602
少数持分損失			456
中間純利益			91,730

中間連結貸借対照表及び中間連結損益計算書についての注記

1. 記載金額は千円未満の端数を切り捨てております。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

 その他有価証券

 時価のあるもの.....中間決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

 時価のないもの.....移動平均法による原価法

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

 商 品.....月別総平均法による原価法

 仕 込 品.....同上

 店 舗 食 材.....同上

 原 材 料.....同上

 未成工事支出金.....個別法による原価法

 貯 蔵 品.....最終仕入原価法

(3) 固定資産の減価償却の方法

 有形固定資産.....建物（建物附属設備を除く）のうち平成10年4月1日以降に取得のものについては定額法、それ以外のものについては定率法によっております。

 無形固定資産.....定額法

(4) 引当金の計上基準

 貸倒引当金.....売掛金等債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

 賞与引当金.....従業員賞与の支給に備えるため、将来の賞与支給見込額のうち当中間連結会計期間対応額を計上しております。

退職給付引当金.....従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間連結会計期間末において発生していると認められている額を計上しております。なお、会計基準変更時差異（44,357千円）については、5年による按分額を費用処理しております。数理計算上の差異は、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（4年）により按分した額をそれぞれ発生翌連結会計年度から費用処理することとしております。

(5) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるものの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(6) ヘッジ会計の方法

ヘッジ会計の方法

特例処理の要件を満たす金利スワップ取引及び金利キャップ取引について、特例処理を採用しております。

ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段.....金利スワップ取引及び金利キャップ取引

ヘッジ対象.....金利等の市場価格の変動により、将来のキャッシュ・フローが変動するリスクのある借入金

ヘッジ方針

金利の変動による将来のキャッシュ・フローの変動を回避する目的で行っております。

ヘッジ有効性評価の方法

金利スワップ取引及び金利キャップ取引についてはすべて特例処理の要件に該当しているため、有効性の評価を省略しております。

(7) 消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

3.有形固定資産の減価償却累計額 9,861,791千円

4.リース契約により使用する重要な固定資産

中間連結貸借対照表に計上した固定資産のほか、厨房設備、電子計算機の一部についてはリース契約により使用しております。

5.担保に供している資産

たな卸資産	722,643千円
建物	1,279,051千円
土地	5,209,826千円
投資有価証券	1,315,020千円

6.保証債務 79,925千円

7.1株当たり中間純利益 5円01銭

中間貸借対照表（平成17年8月31日現在）

（単位：千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
（資産の部）		（負債の部）	
流動資産	4,075,012	流動負債	10,314,268
現金及び預金	1,668,423	買掛金	693,926
売掛金	150,024	短期借入金	8,594,719
たな卸資産	1,538,130	未払費用	664,455
その他	721,613	未払法人税等	54,000
貸倒引当金	3,179	賞与引当金	16,500
固定資産	24,382,945	その他	290,668
有形固定資産	16,910,839	固定負債	11,235,629
建物	8,754,214	社債	3,000,000
構築物	1,089,411	長期借入金	7,094,512
土地	6,014,717	退職給付引当金	42,713
その他	1,052,497	その他	1,098,403
無形固定資産	382,071	負債合計	21,549,897
投資その他の資産	7,090,034	（資本の部）	
投資有価証券	2,160,436	資本金	3,794,197
差入保証金	4,564,587	資本剰余金	3,111,331
その他	708,209	利益剰余金	189,859
貸倒引当金	343,198	株式等評価差額金	178,412
		自己株式	8,915
資産合計	28,457,958	資本合計	6,908,060
		負債及び資本合計	28,457,958

中間損益計算書 (平成17年3月1日から
平成17年8月31日まで)

(単位：千円)

科		目	金 額
経 常 損 益 の 部	営 業 損 益 の 部	営 業 収 益	10,384,512
		売 上 高	9,874,043
		その他の営業収入	510,469
		営 業 費 用	10,148,569
		売 上 原 価	3,572,201
		販売費及び一般管理費	6,576,368
		営 業 利 益	235,943
	営 業 外 損 益 の 部	営 業 外 収 益	121,898
		受 取 利 息	10,557
		その他の営業外収益	111,341
		営 業 外 費 用	188,716
		支 払 利 息	183,809
その他の営業外費用		4,907	
	経 常 利 益	169,125	
特 別 損 益 の 部	特 別 損 失	52,636	
	固 定 資 産 除 却 損	48,115	
	そ の 他 特 別 損 失	4,520	
税 引 前 中 間 純 利 益			116,489
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税			29,143
法 人 税 等 調 整 額			6,305
中 間 純 利 益			81,040
前 期 繰 越 利 益			108,819
中 間 未 処 分 利 益			189,859

中間貸借対照表及び中間損益計算書についての注記

1. 記載金額は千円未満の端数を切り捨てております。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式及び関連会社株式

.....移動平均法による原価法

その他有価証券

時価のあるもの.....中間決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

時価のないもの.....移動平均法による原価法

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

商 品.....月別総平均法による原価法

仕 込 品.....同上

店 舗 食 材.....同上

未成工事支出金.....個別法による原価法

貯 蔵 品.....最終仕入原価法

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産.....建物（建物附属設備を除く）のうち平成10年4月1日以降に取得のものについては定額法、それ以外のものについては定率法によっております。

無形固定資産.....定額法

(4) 引当金の計上基準

貸倒引当金.....売掛金等債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金.....従業員賞与の支給に備えるため、将来の賞与支給見込額のうち当中間会計期間対応額を計上しております。

退職給付引当金.....従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められている額を計上しております。なお、会計基準変更時差異（44,357千円）については、5年による按分額を費用処理しております。数理計算上の差異は、各期の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（4年）により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。

(5) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるものの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(6) ヘッジ会計の方法

ヘッジ会計の方法

特例処理の要件を満たす金利スワップ取引及び金利キャップ取引について、特例処理を採用しております。

ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段.....金利スワップ取引及び金利キャップ取引

ヘッジ対象.....金利等の市場価格の変動により、将来のキャッシュ・フローが変動するリスクのある借入金

ヘッジ方針

金利の変動による将来のキャッシュ・フローの変動を回避する目的で行っております。

ヘッジ有効性評価の方法

金利スワップ取引及び金利キャップ取引についてはすべて特例処理の要件に該当しているため、有効性の評価を省略しております。

(7) 消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

3.有形固定資産の減価償却累計額 10,143,820千円

4.リース契約により使用する重要な固定資産

貸借対照表に計上した固定資産のほか、厨房設備、電子計算機の一部についてはリース契約により使用しております。

5.担保に供している資産

たな卸資産	722,643千円
建物	1,279,051千円
土地	5,209,826千円
投資有価証券	1,315,020千円

6.保証債務 216,925千円

7.1株当たり中間純利益 4円43銭

会社の概要（平成17年8月31日現在）

商号	株式会社 宮
本社所在地	栃木県宇都宮市一条2丁目7番24号
設立	昭和53年12月1日（昭和50年5月12日に設立した有限会社宮を改組）
資本金	3,794,197,000円
従業員数	382名
主な事業	ステーキ、居酒屋、焼肉、麺等のチェーンレストラン事業
店舗	飲食店舗 183店舗 介護施設 8施設

都道府県名	直営店数	F C 店数	介護施設	合計
栃木県	56店	4店	4施設	64店
茨城県	16	1	1	18
群馬県	16	-	1	17
福島県	15	1	-	16
埼玉県	14	-	-	14
宮城県	11	-	-	11
新潟県	9	-	-	9
青森県	8	-	1	9
山形県	7	-	-	7
千葉県	7	-	-	7
石川県	4	-	1	5
長野県	4	-	-	4
秋田県	3	-	-	3
北海道	2	-	-	2
富山県	2	-	-	2
山梨県	2	-	-	2
岩手県	1	-	-	1
合計	177	6	8	191

株式の状況（平成17年8月31日現在）

1. 株 式

会社が発行する株式の総数	41,600,000株
発行済株式の総数	18,309,500株
株主総数	2,970名

2. 大 株 主（上位10名）

株 主 名	持 株 数	議 決 権 比 率
鈴 木 栄 一	2,528千株	13.96%
株式会社ユニバーサル ・レジャー・システム	1,040	5.74
株式会社東和銀行	901	4.97
株式会社鈴直	885	4.88
株式会社足利銀行	834	4.60
株式会社ベンチャー・リンク	653	3.60
株式会社栃木銀行	652	3.60
井 上 ヒ 口 子	624	3.44
鈴 木 一 雄	618	3.41
太陽実業株式会社	403	2.22

取締役および監査役（平成17年8月31日現在）

代表取締役会長兼社長	鈴木 栄 一
代表取締役副社長	宮 田 永 善
専務取締役	根 本 澄 男
専務取締役	橋 本 成 行
専務取締役	近 能 欣 充
常務取締役	柴 田 裕 巳
取 締 役	小 森 利 一
取 締 役	白 沢 道 男
取 締 役	橋 本 京 子
取 締 役	井 上 ヒロ子
取 締 役	鈴 木 一 雄
取 締 役	鈴 木 一 矢
常 勤 監 査 役	春 山 高 治
監 査 役	内 野 直 忠
監 査 役	松 島 安 平

- （注）1．鈴木健夫氏は、平成17年6月27日付で取締役を辞任されました。
- 2．監査役内野直忠および松島安平の両氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

株 主 メ モ

決 算 期	毎年 2 月末日
定時株主総会	毎年 5 月
配 当 金	利益配当金は営業年度末日の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主または登録質権者に、中間配当を実施するときは、毎年 8 月31日現在の最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主または登録質権者にお支払いします。
1 単元の株式の数	1,000株
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全 国各支店
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞
貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス	http://www.aspir.co.jp/kessan/9901/9901.html

(お知らせ)

株式に関するお手続き用紙（届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等）のご請求につきましては、上記名義書換代理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間承っておりますので、ご利用ください。

電話（通話料無料）0120 - 244 - 479（本店証券代行部）
0120 - 684 - 479（大阪証券代行部）

インターネットホームページ

<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

